

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2015年8月20日(20.08.2015)



(10) 国際公開番号

WO 2015/122066 A1

- (51) 国際特許分類:
B65D 5/52 (2006.01) B65D 5/54 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2014/080023
- (22) 国際出願日: 2014年11月13日(13.11.2014)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2014-024282 2014年2月12日(12.02.2014) JP
- (71) 出願人: レンゴー株式会社(RENGO CO., LTD.)
[JP/JP]; 〒5530007 大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号 Osaka (JP).
- (72) 発明者: 半田 雅之(HANDA Masayuki); 〒1240001 東京都葛飾区小菅4丁目2番15号 レンゴー株式会社葛飾工場内 Tokyo (JP). 永長 朗(NAGAOSA Akira); 〒5530007 大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号 レンゴー株式会社中央研究所内 Osaka (JP). 石川 淳生(ISHIKAWA Atsuo); 〒3320004 埼玉県川口市領家5丁目14番8号 レンゴー株式会社包装技術センター内 Saitama (JP). 西川 洋一(NISHIKAWA Yoichi); 〒3320004 埼玉県川口市領家5丁目14番8号 レンゴー株式会社包装技術センター内 Saitama (JP). 杉田 裕紀(SUGITA Hironori); 〒5530007 大阪府大阪市福島区大開4丁目1番186号 レン

ゴー株式会社中央研究所内 Osaka (JP). 石井 一志(ISHII Kazuyuki); 〒3320004 埼玉県川口市領家5丁目14番8号 レンゴー株式会社包装技術センター内 Saitama (JP).

(74) 代理人: 鎌田 直也, 外(KAMADA Naoya et al.); 〒5420073 大阪府大阪市中央区日本橋1丁目18番12号 Osaka (JP).

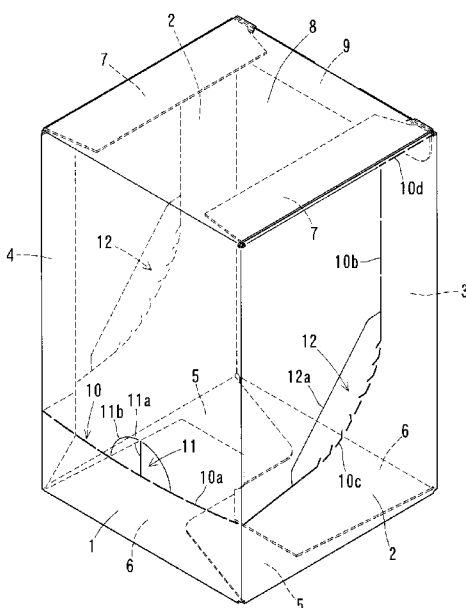
(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーロアジア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ユーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR),

[続葉有]

(54) Title: EASY-TO-OPEN PACKAGING BOX

(54) 発明の名称: 易開封包装箱



(57) Abstract: Provided is a packaging box having formed in a wall surface a slit line (10) in which slits and connecting parts alternate, the box being opened by having force exerted on the wall surface from an opening starting section (11) that faces the slit line (10) as a starting point, and splitting the wall surface along the slit line (10) as the connecting parts break, wherein the slit line (10) is provided with a direction changing portion (10c) where the direction of the line changes, at a location away from a portion faced by the opening starting section (11), and a section facing the inner side of the direction changing portion (10c) serves as an opening assisting section (12) where the connecting parts split when the opening assisting section (12) is pressed in. To open the box, first the opening assistance section (12) is pressed in to cause the connecting parts of the direction changing portion (10c) faced by the opening assistance section to split, and thereafter the connecting parts of other portions of the slit line (10) can be split only by the slight force exerted on the wall surface from the opening starting section (11) as the starting point, thereby allowing a product to be exposed from and presented in the box in a widely-open state.

(57) 要約: 壁面に切目と繋部とが断続する切目線(10)を入れ、切目線(10)に臨む開封開始部(11)を起点として壁面に力を作らせ、繋部の破断に伴い、切目線(10)に沿って壁面を切断することにより開封する包装箱において、前記切目線(10)の開封開始部(11)が臨む部分から離れた位置に、方向が変化する変向部(10c)を設け、変向部(10c)の内側に臨む部分を、押込に伴い繋部が破断する開封補助部(12)とする。開封する際、まず開封補助部(12)を押し込んで、その部分が臨む変向部(10c)の繋部を破断させると、開封開始部(11)を起点として壁面に僅かに力を作らせるだけで、切目線(10)の他の部分の繋部を破断させ、大きく開口した状態で、商品を露出させて展示することができる。

WO 2015/122066 A1



OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, — 補正された請求の範囲 (条約第 19 条(1))
ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： 易開封包装箱

技術分野

[0001] この発明は、商品の包装に使用される紙箱であって、容易に開封できる機能を備えたものに関する。

背景技術

[0002] 従来、下記特許文献 1 には、図 7 に示すように、一対の側板 5 1 から内蓋フラップ 5 3 及び外蓋フラップ 5 4 を、他対の端板 5 2 から端フラップ 5 5 をそれぞれ延出し、外蓋フラップ 5 4 には、切目と繋部とが断続する切目線 5 7 を中央部から一方の側板 5 1 の両端方向へハ字状に入れると共に、その中央部に円弧状の切目線 5 8 を入れ、切目線 5 8 の内側領域を開封開始部 5 9 とした包装箱が記載されている。

[0003] この包装箱により食品等の商品を包装する際には、端フラップ 5 5 を内側へ折り曲げた後、内蓋フラップ 5 3 及び外蓋フラップ 5 4 を順次重ねるように折り曲げ、外蓋フラップ 5 4 を切目線 5 8 の先端側で内蓋フラップ 5 3 に貼り合わせて封緘する。

[0004] このように封緘した包装箱を開封する際には、開封開始部 5 9 を押し込んで、外蓋フラップ 5 4 を窪むように撓めせると、これに伴い、切目線 5 7 の繋部が破断し、切目線 5 7 に沿って外蓋フラップ 5 4 が切断されるので、内蓋フラップ 5 3 及び外蓋フラップ 5 4 を開くことができる。

先行技術文献

特許文献

[0005] 特許文献 1：特許第 4 6 1 1 7 1 8 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0006] しかしながら、上記のような包装箱は、開封状態で複数の面に亘って大きく開口させることができず、トレイ状態として商品を展示する用途に使用す

ることができない。

[0007] そこで、この発明は、商品の展示作業等に際し、容易に開封して大きく開口させることができる包装箱を提供することを課題とする。

課題を解決するための手段

[0008] 上記課題を解決するため、この発明は、壁面に切目と繋部とが断続する切目線を入れ、切目線に臨む開封開始部を起点として壁面に力を作用させ、繋部の破断に伴い、切目線に沿って壁面を切断することにより開封する包装箱において、前記切目線の開封開始部が臨む部分から離れた位置に、方向が変化する変向部を設け、変向部の内側に臨む部分を、押込に伴い繋部が破断する開封補助部としたのである。

[0009] また、前記開封補助部に、その押込を容易にする誘導罫線を入れたのである。

[0010] さらに、前記切目線における変向部の繋部の寸法を大きく設定し、他の部分の繋部の寸法を小さく設定したのである。

発明の効果

[0011] この発明に係る包装箱では、開封する際、まず開封補助部を押し込んで、その部分が臨む切目線の変向部の繋部を破断させると、開封開始部を起点として壁面に僅かに力を作用させるだけで、切目線の他の部分の繋部を破断させ、大きく開口した状態で、商品を露出させて展示することができる。

図面の簡単な説明

[0012] [図1]この発明に係る易開封包装箱のブランクを示す図

[図2]同上の開封補助部付近の拡大図

[図3]同上の易開封包装箱の包装状態を示す斜視図

[図4]同上の開封補助部を押し込んだ状態を示す斜視図

[図5]同上の開封開始部から切取部分を引き上げた状態を示す斜視図

[図6]同上の切取部分を除去してトレイ状とした展示状態を示す斜視図

[図7]従来の易開封包装箱の包装状態を示す斜視図

発明を実施するための形態

[0013] 以下、この発明の実施形態を図1～図5に基づいて説明する。

[0014] この包装箱は、高さが奥行より大きい深型のものであり、デルタフルートと呼ばれる厚さ約2mmの段ボールを材料として、図1に示すブランクから形成される。

[0015] このブランクでは、前面板1の一方の側端に側面板2、後面板3及び側面板2が順次横方向に連設され、前面板1の他方の側端に継代片4が連設されている。一対の側面板2の下端には底板5が、前面板1及び後面板3の下端には片側に斜め方向の折目線を有する底板6がそれぞれ連設されている。また、一対の側面板2の上端には蓋受片7が連設され、前面板1の上端には蓋板8及び差込片9が順次連設されている。

[0016] 前面板1及びこれに繋がる一方の側面板2並びに継代片4と他方の側面板2には、切目と繋部とが断続する切目線10が入れている。

[0017] 切目線10は、前面板1、側面板2の前部となる部分及び継代片4の下部で横方向に延びる横切部10aと、側面板2の後部となる部分で縦方向に延びる縦切部10bと、横切部10aと縦切部10bとに接続され方向が変化するよう湾曲した変向部10cと、縦切部10bの上端から側面板2と蓋受片7の境界に沿って後面板3へ延びる上切部10dとから構成される。

[0018] 横切部10a、縦切部10b及び上切部10dは、直線又は僅かに湾曲した切目が断続するミシン目状とされ、変向部10cは、切断の始端となる中央部の切目を挟んで、ジッパ型と呼ばれる鉤状の切目が対称に断続するものとされている。

[0019] 前面板1において、横切部10aは、下向きに凸となるように大きな曲率で湾曲し、横切部10aの中央部の上側に臨む部分は、開封開始部11とされている。開封開始部11は、横切部10aの切目から上方へ向けて切目11aを入れ、その両側に円弧状の誘導罫線11bを入れて形成されている。

[0020] 側面板2において、横切部10aは、後面板3側へかけて緩い傾斜で上昇し、縦切部10bは、垂直となっている。

[0021] そして、変向部 10c の内側に臨む部分は、開封補助部 12 とされ、開封補助部 12 には、その押し込みを容易にするため、横切部 10a と縦切部 10b の変向部 10c との接続部分間に亘る誘導罫線 12a が入れられている。誘導罫線 12a は、段ボールの裏面側から押圧した押罫とされ、その両端部は斜線の間中部より屈曲して深い角度で横切部 10a 及び縦切部 10b へ接近している。

[0022] ここで、図 2 に示すように、切目線 10 における変向部 10c の繋部の寸法 α は、他の部分の繋部の寸法 β よりも大きく設定されている。具体的には、寸法 α は 4.3 mm 程度とされ、縦切部 10b の寸法 β は 2 mm 程度とされている。

[0023] 一般には、変向部 10c の繋部は、その寸法 α を 3.5 mm 以上として、少なくとも 2 個以上設け、他の部分の繋部は、その寸法 β を変向部 10c の繋部の寸法 α よりも小さくして、変向部 10c の繋部よりも長いピッチで設けることとする。

[0024] このようなブランクから成る包装箱は、製造に際し、前面板 1 と一方の側面板 2 との境界及び後面板 3 と他方の側面板 2 との境界に沿って折り曲げ、継代片 4 を他方の側面板 2 に貼り付けると共に、底板 6 を斜め方向の折目線に沿って折り返した状態で、その折返部を底板 5 に貼り付けて折畳状態としておく。この折曲及び貼着工程は、既存のグルアを使用して行うことができるので、別途設備投資が必要となることはない。

[0025] そして、レトルト食品等の商品を包装する際には、図 3 に示すように、前面板 1、一对の側面板 2 及び後面板 3 から角筒状の周壁を形成し、各一对の底板 5、6 から底壁を形成して、商品を収納した後、蓋受片 7 を内側方向へ折り曲げ、蓋板 8 を後方へ折り曲げて蓋受片 7 に重ね、差込片 9 を後面板 3 と蓋受片 7 の間に差し込んで封緘する。

[0026] 一方、店頭で商品を展示する際には、まず、図 4 に示すように、開封補助部 12 を押し込んで、切目線 10 の変向部 10c の繋部を破断させ、次に、図 5 に示すように、開封開始部 11 を押し込んで、前面板 1 の横切部 10a

より上方の部分を手前に引き上げ、横切部 10a 及び縦切部 10b の繋部を破断させ、上切部 10d の繋部も破断させる。

[0027] これに伴い、前面板 1 の横切部 10a より上方部分と、その両側に連なる側面板 2 の横切部 10a 及び縦切部 10b より上方前部と、これらに連なる蓋受片 7、蓋板 8 及び差込片 9 とを一体として取り去ると、図 6 に示すように、前面、両側面及び天面が大きく開口したトレイ状部分が残存し、トレイ状部分から商品 G が露出した展示状態となる。

[0028] このように、上記包装箱では、切目線 10 の変向部 10c に開封補助部 12 が臨んでいるので、開封する際、開封補助部 12 を押し込むと、変向部 10c の繋部を容易に破断させることができ、その後、開封開始部 11 を起点として前面板 1 に僅かな引上力を作用させるだけで、横切部 10a、縦切部 10b 及び上切部 10d の繋部を破断させ、大きく開口した状態で、商品 G を露出させて展示することができる。

[0029] また、変向部 10c の繋部は、ある程度大きくし、またピッチを短くしても簡単に破断するので、変向部 10c の繋部を大きく、ピッチを短く設定して、物流過程における耐衝撃性を確保しつつ、切目線 10 の他の部分の繋部を小さく、ピッチを長く設定して、開封の容易性を向上させることができる。

[0030] そして、この実施形態のように、横切部 10a、縦切部 10b 及び上切部 10d の繋部を小さく、ピッチを長く設定しておく、展示状態としたとき、残存するトレイ状部分において、切目線 10 のこれらの部分の繋部が破断した跡が目立たないので、美粧性に優れた展示ができる。

[0031] なお、上記実施形態では、天面がタックエンド式のものを例示したが、天面の封緘構造は、周壁各面の上端から延びるフラップを貼り合わせて封緘するシールエンド式としてもよい。この場合、展示状態とする際、天面のフラップを切断できるように、切目線 10 の上切部 10d を入れるとよい。

[0032] また、開封補助部 12 を両側面に設けたものを例示したが、展示状態で開口させる面が 1 面又は 2 面である場合には、開封補助部 12 は、1 か所だけ

でもよく、開封開始部 1 1 と同じ面に設けてもよい。また、同一の面に 2 つ以上の開封補助部 1 2 を設けてもよい。さらに、開封補助部 1 2 は、側面に限らず、天面に設けてもよい。

[0033] また、切目線 1 0 の変向部 1 0 c は、その両端部の接線である横切部 1 0 a と縦切部 1 0 b の延長線がなす角の内側（劣角）の角度が鈍角となるものを例示したが、この角度が鋭角又は直角となるものであってもよい。また、変向部 1 0 c は、内側の角度が鋭角や直角である場合には、折線状に屈曲しているよりも湾曲しているほうが好ましい。

[0034] そのほか、開封補助部 1 2 の誘導罫線 1 2 a は、中間部が斜線で両端部が屈曲したものを例示したが、変向部 1 0 c の両端間に亘って、変向部 1 0 c とは逆方向へ全体的に湾曲したものとしてもよく、変向部 1 0 c から離れた位置を起点として、放射状に変向部 1 0 c へ向けて複数本設けてもよい。

符号の説明

- [0035] 1 前面板
2 側面板
3 後面板
4 継代片
5, 6 底板
7 蓋受片
8 蓋板
9 差込片
1 0 切目線
1 0 a 横切部
1 0 b 縦切部
1 0 c 変向部
1 0 d 上切部
1 1 開封開始部
1 1 a 切目

1 1 b 誘導罫線

1 2 開封補助部

1 2 a 誘導罫線

G 商品

請求の範囲

- [請求項1] 壁面に切目と繫部とが断続する切目線(10)を入れ、切目線(10)に臨む開封開始部(11)を起点として壁面に力を作用させ、繫部の破断に伴い、切目線(10)に沿って壁面を切断することにより開封する包装箱において、前記切目線(10)の開封開始部(11)が臨む部分から離れた位置に、方向が変化する変向部(10c)を設け、変向部(10c)の内側に臨む部分を、押込に伴い繫部が破断する開封補助部(12)としたことを特徴とする易開封包装箱。
- [請求項2] 前記開封補助部(12)に、その押込を容易にする誘導罫線(12a)を入れたことを特徴とする請求項1に記載の易開封包装箱。
- [請求項3] 前記切目線(10)における変向部(10c)の繫部の寸法を大きく設定し、他の部分の繫部の寸法を小さく設定したことを特徴とする請求項1又は2に記載の易開封包装箱。

補正された請求の範囲
[2015年4月15日 (15.04.2015) 国際事務局受理]

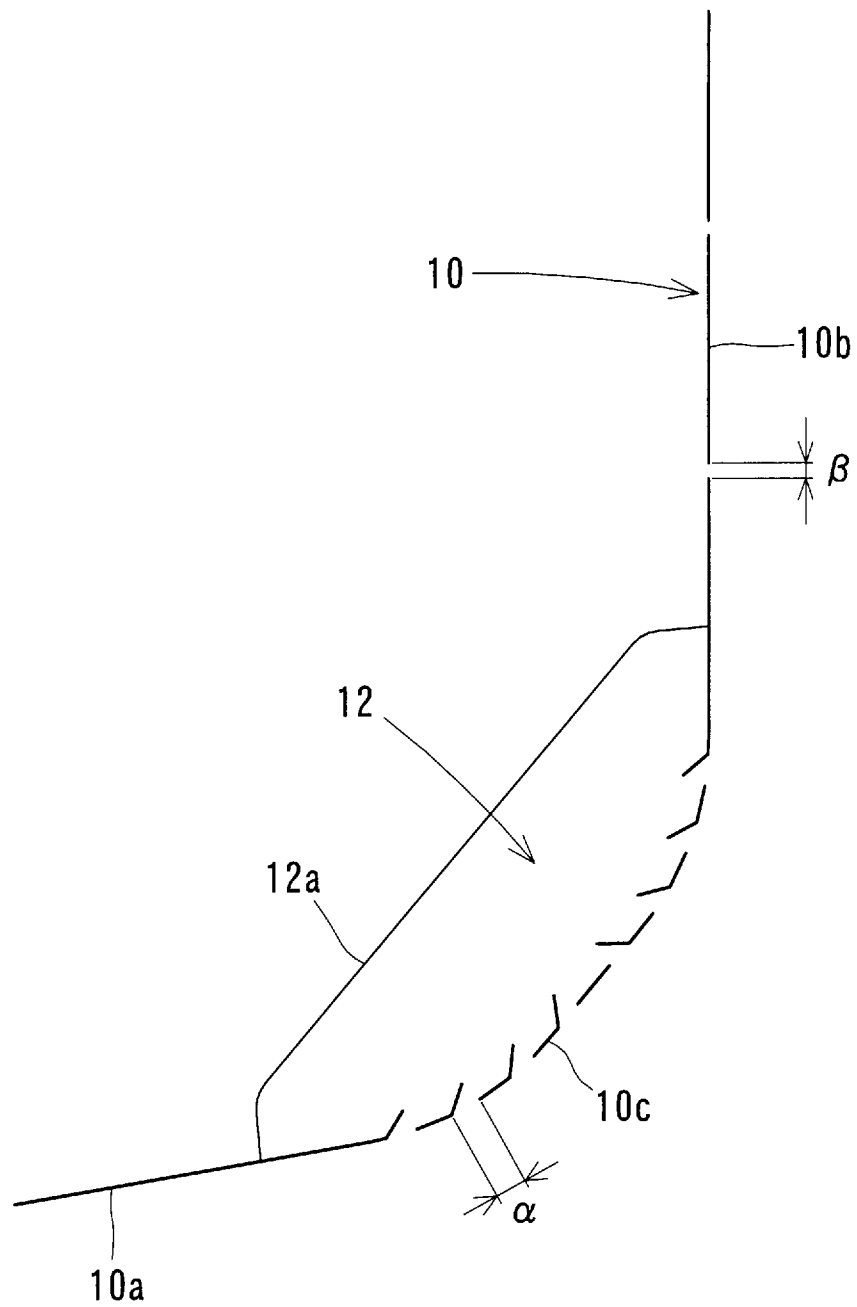
[請求項1] (補正後)

壁面に切目と繫部とが断続する切目線(10)を入れ、切目線(10)に臨む開封開始部(11)を起点として壁面に力を作用させ、繫部の破断に伴い、切目線(10)に沿って壁面を切断することにより開封する包装箱において、前記切目線(10)の開封開始部(11)が臨む部分から離れた位置に、方向が変化する変向部(10c)を設け、変向部(10c)の内側に臨む部分を、押込に伴い繫部が破断する開封補助部(12)とし、前記切目線(10)における変向部(10c)の繫部の寸法を大きく設定し、他の部分の繫部の寸法を小さく設定したことを特徴とする易開封包装箱。

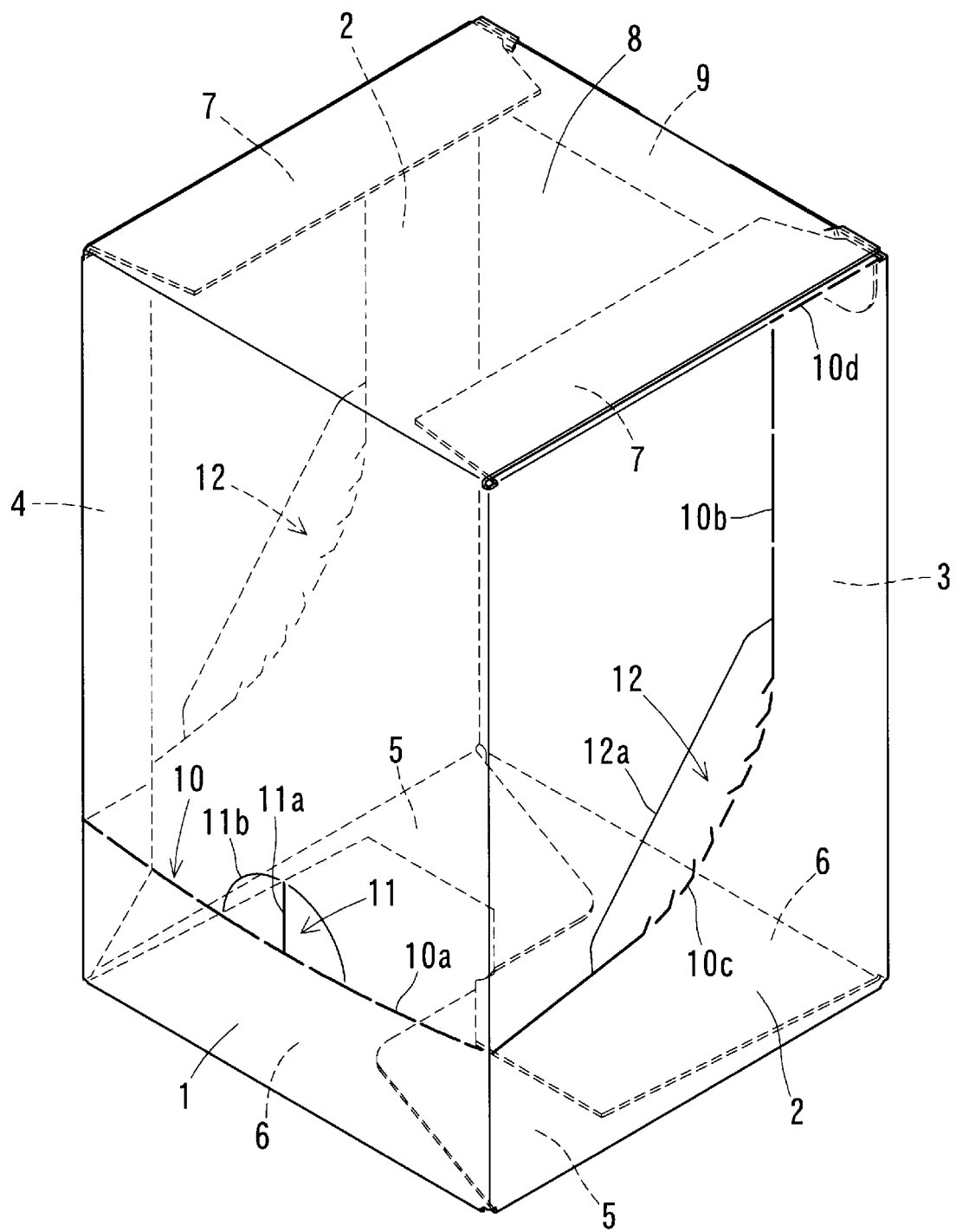
[請求項2] (削除)

[請求項3] (削除)

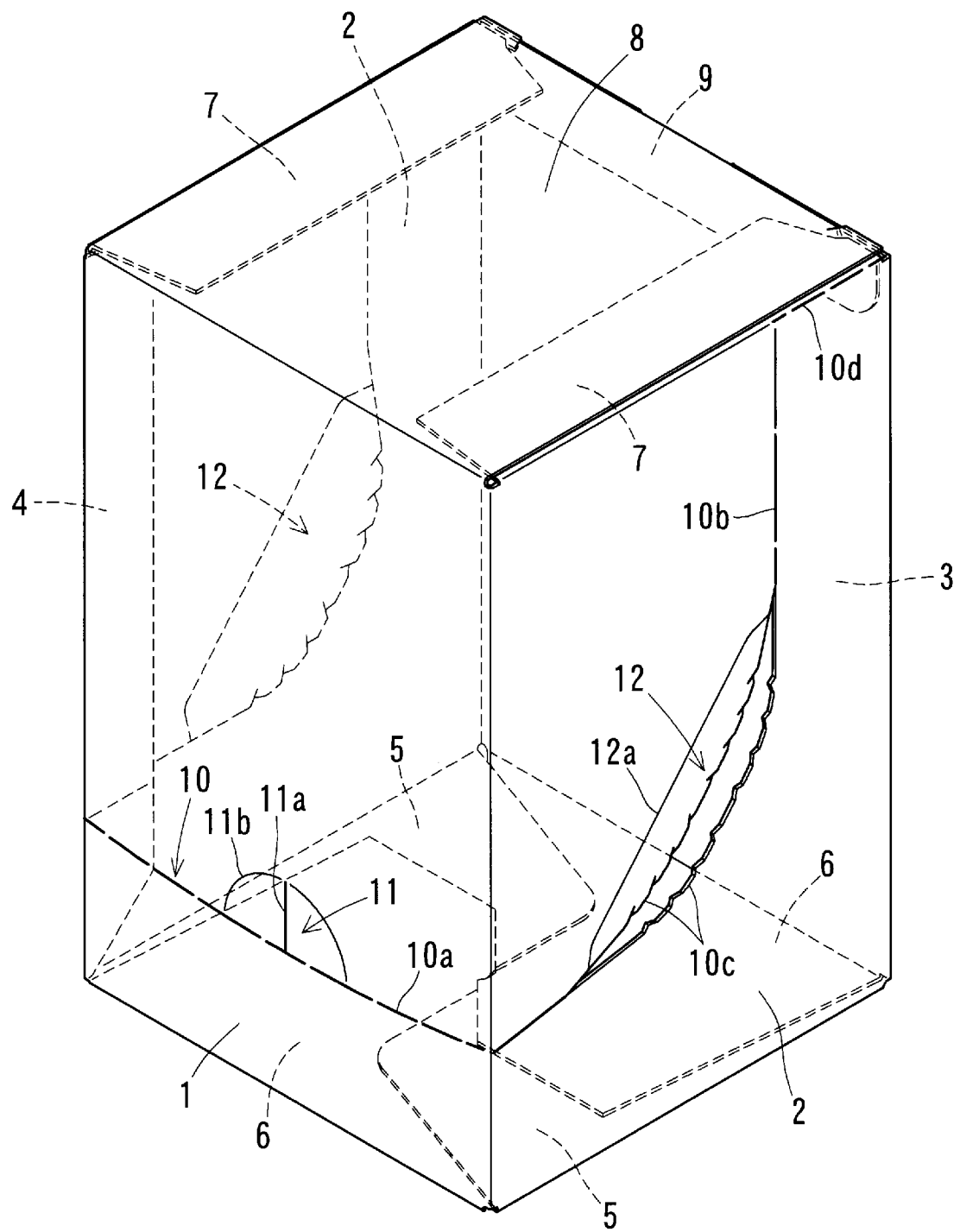
[図2]



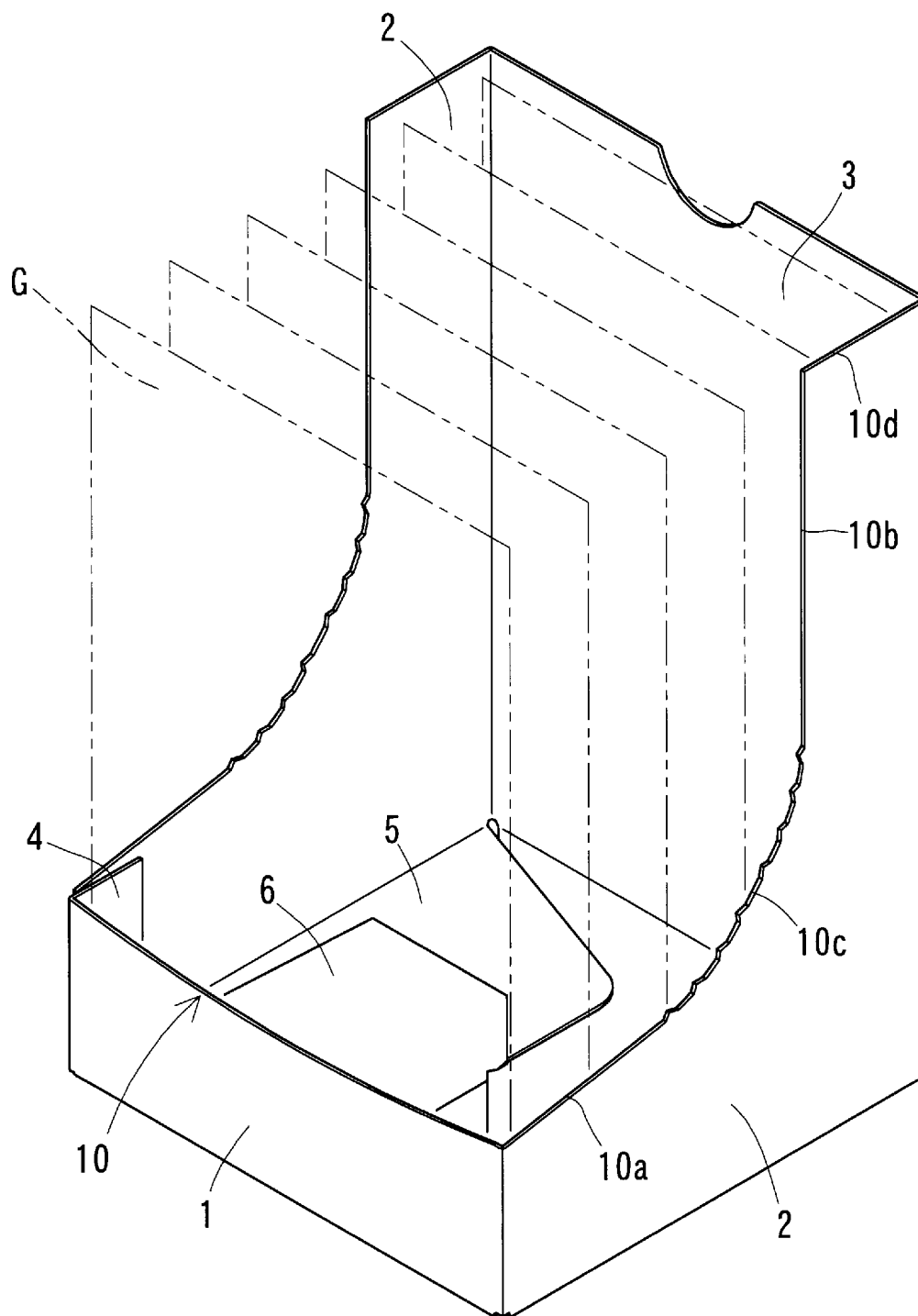
[図3]



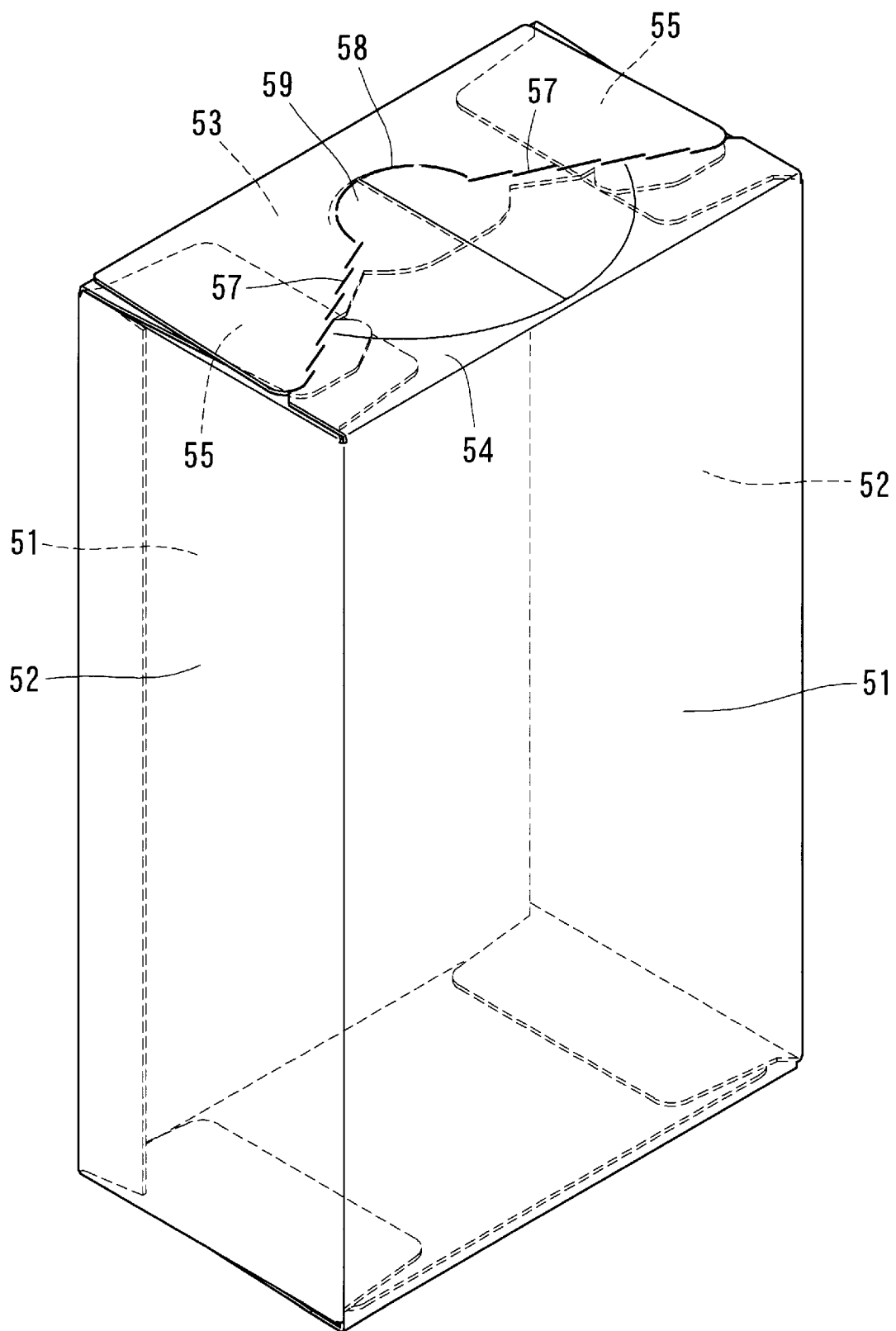
[図4]



[図6]



[図7]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/080023

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

B65D5/52(2006.01)i, B65D5/54(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65D5/52, B65D5/54

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2015
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2015	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2015

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X A	US 2010/0276333 A1 (COUTURE, David G.), 04 November 2010 (04.11.2010), paragraphs [0054], [0082]; fig. 19, 20, 51 & CA 2700018 A1	1, 2 3
A	JP 2013-166561 A (Kewpie Corp.), 29 August 2013 (29.08.2013), paragraph [0015] (Family: none)	1-3
A	JP 2002-002684 A (Tomoku Co., Ltd.), 09 January 2002 (09.01.2002), paragraph [0019] (Family: none)	1-3

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
22 January 2015 (22.01.15)

Date of mailing of the international search report
24 February 2015 (24.02.15)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2014/080023

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 3046950 U (Okaji Shigyo Kabushiki Kaisha), 24 March 1998 (24.03.1998), paragraph [0018] (Family: none)	1-3
A	US 2010/0288824 A1 (PINKSTONE, Felicia A.), 18 November 2010 (18.11.2010), paragraph [0028] & CA 2704443 A1	1-3
A	US 6073833 A (MCNELL-PPC, INC.), 13 June 2000 (13.06.2000), column 4, lines 30, 31 & EP 1077880 A & WO 2000/050308 A1	1-3
A	GB 2383792 A (DS SMITH (UK) LTD.), 09 July 2003 (09.07.2003), page 4, lines 9 to 10 (Family: none)	1-3

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D5/52(2006.01)i, B65D5/54(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. B65D5/52, B65D5/54

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 5 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 5 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 5 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	US 2010/0276333 A1 (COUTURE, David G.) 2010.11.04, 段落[0054]、 [0082]、FIG. 19、FIG. 20、FIG. 51 & CA 2700018 A1	1, 2
A		3
A	JP 2013-166561 A (キューピー株式会社) 2013.08.29, 段落【0015】（ファミリーなし）	1 - 3
A	JP 2002-002684 A (株式会社トーモク) 2002.01.09, 段落【0019】（ファミリーなし）	1 - 3

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 2 . 0 1 . 2 0 1 5

国際調査報告の発送日

2 4 . 0 2 . 2 0 1 5

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

会田 博行

3 N

7 5 0 1

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 6 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
A	JP 3046950 U (オカジ紙業株式会社) 1998.03.24, 段落【0018】 (ファミリーなし)	1 - 3
A	US 2010/0288824 A1 (PINKSTONE, Felicia A.) 2010.11.18, 段落 [0028] & CA 2704443 A1	1 - 3
A	US 6073833 A (MCNELL-PPC, INC.) 2000.06.13, 第4欄30, 31 行 & EP 1077880 A & WO 2000/050308 A1	1 - 3
A	GB 2383792 A (DS SMITH (UK) LIMITED) 2003.07.09, 第4頁9 - 1 0行 (ファミリーなし)	1 - 3